

第76回 「計画」を作るのは単なる負担???

前にも似たようなことを何度か書きましたが年度の変わり目に当たってまた書きます。

皆様の法人・事業所では既に新年度の「計画」策定を進めておられるかもしれません。

しかしこのような「計画」はあくまでどこかに提出するためのものであり、それを策定する作業で現場に負担を掛けるのはよろしくないと考え、一部の理事や管理部門だけで作ってしまうことも多いと思います。

私のような経営コンサルタントの見方からしますと、そのように現場を介せず作った「計画」などは絵にかいた餅未満の、ほとんど意味のないものです。

では、そもそも、なぜ「計画」が必要なのでしょうか。

例えば一年間でこれだけのことを為したい、一年後こうなっていたい、といった前向きな目標があったとしても、私たちは日々忙しいので、目の前の仕事を優先せざるを得ず、一年後の結果のために時間を割こうと思えません(×_×)。そもそも、一年後のために今日明日何をすべきか、わかりません。さらに組織であれば、誰がやるかもはっきりしないことは誰もやれません。

そこで、いつ、誰が、何をやるかを明確化しておくのが「計画」の役目です。このような観点からすれば、実際に何かをやる現場の人が策定に関与していない「計画」は単なる押し付けになってしまい、日々の忙しさの中で後回しにされてしまうことはご理解いただけるでしょう。

さて、令和7年10月にはいよいよ「就労選択支援」制度がスタートする見込みです。

皆様の法人・事業所が「選択してもらえる」存在になるために、いつ、どなたが、何をするか、皆様（場合によっては利用者さんにも入ってもらって）の「計画」策定作業の中で喧々諤々の検討をしてみたいかがでしょうか。

その他、「計画策定」に関する考え方について、『「工賃向上計画」策定・実現ノウハウ集 第二部 実現へのノウハウ（令和3年～5年度対応版）』をご覧ください♪。

<https://www.shougai-syuurou.jp/plan.html>